

令和 7 年度第 1 回四日市市地方創生推進会議 議事概要

1. 日時 令和 7 年 5 月 16 日（金）午後 3 時から 4 時 30 分まで

2. 場所 四日市市役所 6 階 本部員会議室

3. 出席者 秋田委員、杉浦委員、田中委員、廣瀬委員、別府委員

四日市市 政策推進部 矢澤参事兼政策推進課長、東内政策推進課付主幹、堀江政策推進課主幹

4. 資料等 別添のとおり

5. 傍聴者 なし

6. 議題

(1) 会長の選任について

(2) 新たな四日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

(3) その他

7. 内容

矢澤参事 本日は、ご多用のところ第 1 回四日市市地方創生推進会議にご参集いただき、ありがとうございます。定刻となりましたので、会議を始めたいと存じます。進行を務めさせていただきます四日市市政策推進課長の矢澤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

会議に入る前に、3 点、ご報告させていただきたくします。本日の会議につきましては、委員 5 名全員のご出席をいただいていることから、四日市市地方創生推進会議設置要綱第 6 条第 2 項の規定を満たしておりますのでご報告させていただきます。次に、本会議は公開の会議となっております。現在はいらっしゃいませんが、傍聴の方、報道機関の方が入る可能性がありますので、委員の皆さまにおかれましては、あらかじめご了承ください。最後に、本日は第 1 回の会議となりまして、皆さまに委員の委嘱をさせていただきます。本来であれば、市長からお一人お一人、手渡しさせていただくべきところではございますが、お時間の関係上、お席に配布させていただいておりますので、ご確認くださいようお願いいたします。

次に、委員の皆さまから、簡単に自己紹介をお願いできればと思います。

(別府委員から時計回りに自己紹介。委員の後、事務局側も自己紹介。)

(1) 会長の選任について

矢澤参事 それでは、さっそく議事に入らせていただきますが、今回は今年度第1回の地方創生推進会議ということで、四日市市地方創生推進会議設置要綱第5条第1項の規定に基づき、まずは会長を選任したいと存じます。

会長は、委員の皆さまの互選となっておりますが、いかがでしょうか。特にご意見がなければ、選任にあたりましては、事務局にご一任いただきたいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なしと呼ぶ声あり)

矢澤参事 ありがとうございます。それでは、前回に引き続き、杉浦委員に会長をお願いしたいと存じます。以降の議事進行は杉浦会長にお願いをいたします。よろしくお願いいたします。

(2) 新たな四日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

杉浦会長 皆さま、よろしくお願いいたします。それでは、議事に入ります。議題2、新たな四日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について、事務局より説明をお願いします。

(事務局 東内より資料を用いて説明)

杉浦会長 説明ありがとうございました。この後の進め方について、新たな四日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定案を中心に、委員の皆さまから忌憚のないご意見をいただいきたいと思います。委員お1人ずつ、5分程度を一つの目安に、若干長くても短くても構いませんので、先ほどご説明いただきました中で、具体的に何か質問や意見があれば、ご発言いただきまして、その中で事務局から、回答いただけるものは回答していただきながらといった形式で進めていきたいと思います。皆さまから一通りご発言をいただきました後に、改めて深掘りをする形でディスカッションする時間も設けたいと思っております。

それでは、座席の位置で、秋田委員、田中委員、廣瀬委員、別府委員と発言いただき、最後に私が発言させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

いします。

秋田委員 冒頭一つ確認ですが、意見などを伝えるとき、どういうところに着目して発言していくと良いか教えてください。

矢澤参事 総合戦略案には4つの基本目標がありますが、前回の会議の際、この基本目標に対してKPIがうまく繋がっていない、KPIの達成が数値目標に結びついていないのではないかといったご意見を多くいただきました。我々もそこが課題と認識しておりまして、今回の策定案では基本目標の達成に向けて、今回新たに加えたものもありますが、数値目標を設定し、連動するような形でKPIを設定するように意識しました。このようなことから、KPIを達成することで基本目標の数値目標が達成できる、繋がるといった視点を中心にご意見いただければと考えています。

秋田委員 たとえば、基本目標1に掲げられている数値目標、この数値が多い、少ないといった観点での意見などはどうでしょうか。

矢澤参事 そういったところも含めて、忌憚なくご意見いただければと思います。

秋田委員 わかりました。それでは、資料の新旧対照表の中から順番に、基本目標1の数値目標の農業産出額、これは新たに加えられたもので、この目標値がプラス1.8億円、この1.8億円というのが、農業分野において多いのか少ないのかというのが私にはちょっとわからないのですが、基本目標のタイトルに「果敢に挑戦し…」と書いてあることを思うと、1.8億円は少ないのかなといった印象を受けました。

次に、基本目標2の数値目標に、ふるさと応援寄附金の受け入れ額が今回入っていますが、この数値目標は、基本的方向1の四日市ファンを増やすことにはつながるのかなと思う反面、基本目標2の達成の進捗をはかる数値目標としてはどうなのかなといった印象を受けました。

基本目標3ですが、基本的方向3のKPIが、1人当たりの都市公園の面積、それから市民緑地の開設数とある中で、要は子育て世代にも選ばれる緑豊かな良好な居住地を形成するというのが目標だと思いますが、本文の前段はどちらかというと、空き地活用を進める施策方針が前面に出ているのではないかと感じました。また、1人当たりの都市公園の面積について、1人当たりというのは、その子育て世代のみを対象としたものではないと思いますので、市民1人当たりの面積を指標に持ってきて良いのかなと感じました。以上です。

杉浦会長 ありがとうございます。秋田委員の発言について、事務局から回答など

がありましたらお願いします。

矢澤参事 ご指摘のあった農業産出額の部分について、農業が弱い、現状は自治体としてやれる施策をしっかりとやっていく、その中で何とか数値目標の達成に向けて取り組むといった状況になっている中で、なかなか難しいところではありますが、抜本的な対策をしないと、といった視点があることは認識しています。このことについては、担当課と協議させていただきます。

二つ目のふるさと応援寄附金について、基本目標の達成に向けて、ほかの数値目標、入込客数の達成に向けて、人が来ていただく中では、公共交通を使っていただいてといったところを目指しつつ、四日市の魅力を発信していくということも必要と考えて設定したところですが、ふるさと応援寄附金については、単に商品の紹介にとどまらず、その背景やバックグラウンドといったところもお伝えしつつ、今、3年目になります、ふるさと納税推進室を中心に取り組んでいるところであり、数値目標として表現するのであればこういうところかなと考えています。

一方で、三つ目の子育て世代と公園というところが、公園の施策という観点で設定していることについては、議論があると思いますが、KPIとして設定するとすればこういうところかなと考えており、もう一つの市民緑地についても、大きな宅地開発などがあれば、この緑地が子育て世代を呼び込むきっかけといった視点もあるかと考えています。

秋田委員 もう一点、4つ目の基本目標のKPIで、大腸がん検診を上げていますが、健診は色々ある中で、どのような理由で大腸がんをあげているのでしょうか。

矢澤参事 大腸がんについては、他のがんと比べて死亡率が高い中で、受診率が低くなっていることから、早期発見、早期治療のため、市でも一定の年齢ごとに受診を進めているところです。受診率の向上が、基本目標の数値目標である健康寿命の向上にもつながると考えていることからKPIに設定しています。

杉浦会長 ありがとうございます。それでは、田中委員、よろしくお願いします。

田中委員 基本目標3のKPI、待機児童数について令和6年4月1日現在、72人ということですが、令和11年度に0人の目標を掲げている中で、これは5年間でゼロを達成するということではよかったでしょうか。

矢澤参事 このことについては、昨年数年ぶりに待機児童が出てしまった、それが全国的に見ても多いということで、話題にもあがりました。我々としては、今すぐにでもゼロにしたいということで、色々な取組をしていくところです。

11 年度は戦略の最終年度ですが、思いとしては、できる限り早く達成したいと考えています。一方で、なかなか保育士が確保できない。場所の問題という点もあるものの、やはり人材の確保という点が大きな課題となっています。

田中委員 今年度の待機児童の人数は公表されているのでしょうか。

矢澤参事 現在、集計しているので、後日ご案内させていただくことになるかと思います。

田中委員 もう一点、三重大大学のサテライトは、今どこにあるのでしょうか。

矢澤参事 市民公園の中央通りを挟んで向かい側にある民間施設であるユマニテックプラザさんの中にあります。従前は、じばさんの中にあっただのですが、ユマニテックプラザができたときに、そちらに移ったという形となります。

杉浦会長 ありがとうございます。それでは、廣瀬委員、よろしくお願いします。

廣瀬委員 私も最初に秋田委員と同じ点、農業産出額について 61.6 億円から 2 億円程度増えるといった目標について、四日市はあまり農業が無いように感じていますが、これを広げていくということは、かなり大変なのではないかと感じています。相当やらないと、増やす、維持するといったことも難しい。なぜかという、最近、四日市の山側の方に行く機会があったのですが、大きなビニールハウスがテナント募集、テナント募集というか、どなたかやっていただけの方がいませんか、といったような状態になっていました。やはり、みなさん高齢になってくると手放したい、そういう中で増やしていかなければならない。こういったことを考えると、2 億円程度の増というのは多いのではないかと感じました。

矢澤参事 途中のところで申し訳ありません。確かにご指摘の点もあると思います。先に中間見直しを行いました総合計画でも、残り 5 年というところで、農業産出額を 2 億円程度増やすことを目標としていますので、これは達成に向けて取り組んでいきたいと思います。また、冒頭少しご説明しましたが、今までの戦略では、KPI として農業産出額があったところ、これを達成しても数値目標である製造品出荷額等につながらないということで、今回の案では、農業産出額も数値目標に加えて、この数値目標を達成するための KPI を設定することとしました。農業はなかなか効果が出にくいところもあるのですが、担い手育成という観点も含めて、農地集約や高付加価値化、高収益作物への転換といったように、メニューとしては色々あるので、こういったこ

とをしっかりと行いながら、数値目標の達成に向けて取り組んでいきたいと考えています。

廣瀬委員 ありがとうございます。基本目標 2 のところで、人に来てもらって、ということで、KPI の 1 つである四日市公害と環境未来館の来観者数というのはよくわかります。一方で、四日市港の来港者数というのは結構大まかで、北と南に拠点がある中で、こういったものを対象にしているのか教えてください。

矢澤参事 たとえば、北で言うポートビルなどがありまして、南の方で言うと、今、商工会議所の秋田委員とも一緒に取り組んでいるみなとまちづくり、こちらを旧四日市港の方で展開しています。もう少しターゲットを明確に絞って、という視点もあると思いますが、我々としても、こういった取組を進めながら、来港者を増やしていきたいと考えています。

廣瀬委員 次に、その下のスーパーメガリージョンの中で、中心市街地への歩行者流量、令和 11 年度には、6 万人強という指標がありますが、再開発をしていたいのであれば、もう少し来てほしいと感じました。なかなか難しいところもあると思いますが、8 か所調査してもらうということで、駅前だけではなく、駅の西側なども相当変わってくるので、そこも含めて、より多くの人に来ていただく、目標値ももう少し多くても良いのではないかと感じました。

矢澤参事 中心市街地再開発プロジェクトについて、近鉄側については、かなり形が見えてくると思います。一方で、東側については地点にもよりますが、まだまだ時間がかかるということもありますので、次の指標の見直し時には、より高い目標値を設定できるのではないかと感じています。

廣瀬委員 次に基本目標 4 のところで、認知症の人にやさしいまちづくりの推進の項目、認知症サポーターの人数とありますが、令和 11 年度に 42,000 人もサポーターを集めることができるのか、介護の分野は本当に今大変で、担い手の確保に苦労しているところであり、賃金も相当抑えられているので、その中で目標値の達成は結構大変ではないかと感じました。

矢澤参事 このことについては、基本的には地域の方が中心になると思いますが、今後は企業の皆さんにもご協力いただきたいと考えています。ご指摘のとおり現場の方は大変ですが、対象者に加えて、そういった現場の方を応援していくという観点からも、進めていきたいと考えています。

廣瀬委員 ありがとうございます。これは広報よっかいちでも掲載のあったものですよ。これから、こういった取組が少しずつ浸透していき、サポーターとしてケアしていく環境をつくっていきたいということですね。

矢澤参事 ご指摘のとおり、施設だけではなくて、地域や企業、様々な主体が協力して支えあっていくということができればと考えています。

杉浦会長 ありがとうございます。お待たせしました。別府委員、よろしくお願いします。

別府委員 大きなところで、3 ページのところですが、基本的な考え方のところで、①から⑤の5つの視点があげられています。本文中には様々な記載があるところですが、③の広域連携の視点、これが素案にはあまり記載がないのではないかと感じました。四日市市は北勢の中心、中枢中核都市という記載もあるように、国や県との役割分担も含めて、リーダー的存在として期待しているところもあるので、そういった記載があっても良いのかと思います。

個別のところでは申し上げると、13 ページのアグリビジネス補助金の交付件数、令和11年度に185件と三倍以上の目標値になっていますが、これは担当課が入れてきたところではあると思いますが、達成に向けてお考えがあるのかといったことを感じました。

次に、15 ページの四日市港の来港者数、廣瀬委員からもご意見がありましたが、ポートビルやみなとまちづくりはイメージが湧きやすいのですが、その他はどういったものを上げているのか、たとえばクルーズ船が来航して、それを待っている方は入るのか、こういった点を教えてください。

杉浦会長 これは市の統計などから引用しているということでしょうか。

秋田委員 みなとまちづくりや港まつりといったイベントを入れても、基準値の90,000人弱までいかないのではないかと感じましたので、港湾関係のビジネスでの来港者なども入っているなど、他にもあるということかと思います。

矢澤参事 いったん、数字の内訳は確認させていただきます。

別府委員 続けて15 ページの下指標、名古屋都市圏における暮らしやすい都市イメージ、これは、アンケート調査などを実施して比較しているということでしょうか。

事務局 インターネットによるアンケート調査であり、名古屋都市圏、首都圏などの方、1,000人に対して実施したもので、経年的に実施しています。

別府委員 ありがとうございます。初めて見た調査だったので、少し確認させていただきました。続けて、18 ページの基本目標 3 の数値目標について、合計特殊出生率を外されたのは良いのではないかと感じました。以前は、合計特殊出生率が高い方が良い、若い人に来てもらう必要があるといった論調だったのですが、東京がまさにそうですが、若い女性が流入すると逆に出生率が下がるといった傾向があるという論調に変わってきているので、自治体としての目標としては素案の数値目標で良いのではないかと思います。

次に 20 ページのこどもの居場所事業、これのイメージがわからなかったので、少し教えてください。

矢澤参事 昨年度、こども計画を策定する中で、こどもの居場所づくりを進めていくこととしました。学校などもそうなのですが、今年度は実証的に地区市民センターやあさけプラザ、じばさんなどにも、こどもの居場所を設けていくといった事業を実施しながら、より良い方向性を検討していきたいと考えています。

別府委員 最後ですが、24 ページの KPI で、スポーツ・運動を週 1 回以上とありますが、70%という目標値は結構高い数値だと感じました。基準値である令和 2 年は、コロナの影響で下がっていたという認識で良かったでしょうか。

矢澤参事 ご指摘のとおり、コロナの影響もあったものと考えています。ありがとうございます。先にいただいたご指摘も含めて少し回答させていただきますと、まず、アグリビジネスの交付金件数については、ご意見も踏まえて、担当課と実現に向けた手法などについて、協議していきたいと考えています。

次に広域連携について、特に駅前は、市だけではなく、広域の視点も必要であると考えています。たとえば JR 四日市駅前の大学の設置については、産業における人材の担い手育成など、市に留まらず、北勢地域、県内の自治体や企業に波及するものだと考えていますので、こういったところの表現について戦略への位置づけを検討します。

事務局 遅くなり申し訳ありません。ご質問いただいていた来港者数の内訳ですが、ポートビル、これが約 55,000 人、シドニー港公園や富双緑地、浜園緑地などの緑地施設が約 27,000 人、その他には、乗客を含めたクルーズのイベントやみなとまちあるきイベントなどが対象となっています。港湾関係のビジネスでの来港者などは集計の対象になっていません。また、令和 5 年度は中止となりましたが、港まつりが集計の対象となっており、これが数万人のカウントとなっています。

杉浦会長 ありがとうございます。皆さん一通り発言いただいたので、最後に私から少しお願いします。全体的なところの確認ですが、本日の会議の意見を踏まえて、ブラッシュアップされていくものと思います。今後、この意見がどうやって活かされていくのか、今後のスケジュールなども含めて教えてください。

事務局 今後のスケジュールですが、まず、本日の意見を踏まえて、素案をブラッシュアップします。次に、総合戦略は市の重要な計画の一つということもあり、市議会の議決は要しないものの、6月の中下旬頃に市議会に素案の説明を行い、ご意見をいただきます。その後、最終案を策定した上で、再度、本委員会にお諮りし最終案の確認をいただきます。これらを踏まえて、庁内で意思決定の上、7月から8月には新たな総合戦略を策定し、公表する予定です。

杉浦会長 7月、8月に市民に公表ということで、パブリックコメントを実施するということでしょうか。

事務局 総合戦略は総合計画から地方創生に資する部分を抽出して策定しています。この点、総合計画の中間見直し時にはパブリックコメントを実施し、広く市民の皆さまにご意見をいただいていたことから、総合戦略については、改めてのパブリックコメントの実施は予定しておりませんが、策定時には、ホームページなどに公表し、広く周知していきます。

矢澤参事 総合戦略の活用についてですが、総合計画の中から地方創生に資するものをピックアップしているところですので、戦略を策定することで、国の第2世代交付金や企業版ふるさと納税といった地方創生を後押しする制度の活用などにもつながっていくものと考えています。

杉浦会長 ありがとうございます。本日、私は車で四日市に来ているのですが、四日市に入った時に、看板が立っていて「来て 見て 感じて きらめき四日市」というコピーとコンビナートの写真が入っていました。これは総合戦略の基本目標の中にも記述があり、ブランドのイメージの確立や想起には、繰り返して訴えていくといったことが認知率の向上にもつながると思いますので、しっかりと実践いただいているのだなと感心しました。

全体的なところからですが、前回、2年前になりますけれども、委員の皆さまからKPIの設定であったり年度ごとの目標値の設定であったりと、非常に幅広く意見や提案をいただいたと認識しています。この意見や提案がどのようにフィードバックされたか、教えていただければと思います。

次に、個別のところ、基本目標の1について、製造品出荷額等に加えて農業産出額を設定したことは、産業を全般的に網羅するという観点から非常に意義のあることだと思っています。一方で、12 ページに「儲かる農業」という記載があることについて、現状、農業は儲からないと担い手も追従しないというところがある中で、持続可能性を高めるために、いかに担い手の裾野を確保するかといった施策も重視すべきではないか、こういった担い手にかかる記載が薄いのかなと感じました。6 次産業化についても厳しいと、経営資源が豊かな場所でない、農家の方が成功するのは難しいと感じています。その中でここでは、農商工連携により、新たな販路の拡大に取り組むといった記載がありますが、販路だけではなく、製造やマッチングといった部分も膨らませて記載しても良いのではないかと感じました。前回は紹介したかもしれませんが、私もゼミの活動で地域イノベーションをやっている中で、ゼミの活動のプロジェクトの一つに、農家さんの困りごとを解決するというコンセプトで、アップサイクル、捨てられているものを原料に、加工して、販売するという工程を一貫して行っています。それを何年かやっていたら、瀬戸市役所がそれを拾ってくださって、今年度はゼミの活動なのに予算をつけていただき、瀬戸市も販売するところがあまりない中で、瀬戸市の交流、人流が多いところ、道の駅ですが、これと連携しながら、瀬戸のものを使って、学生が商品開発し、プロモーションしたものを販売するという取組を実施することとしています。これも一つの産学官、農商工連携だと思しますので、そういった形があれば、6 次産業化も進むのではないかと感じました。

基本目標2について、ふるさと納税の件ですが、もともとがマイナスになっているところから、始まったものだと思っています。ふるさと納税が増えることは数字として良いと思いますが、トータルで、差し引きをプラスにするといった視点はいらないのかなと思いました。

また、公共交通機関について、17 ページに記載がある多様な公共交通の移動ニーズについて、鉄道やバス、名古屋市は鉄道もバスも市が持っているのがやりやすいと思いますが、四日市は名古屋市とは違って民間が主体となっていると思います。こういったこともありなかなか難しいとは思いますが、免許を返納された方とか交通が非常に不便で、生活不便地域になっている方などのニーズについても、民間のバス会社と連携して、何かしら取り組んでいくといったことも考えられているのか教えてください。

基本目標3について、基本的方向3の最初に空き家という社会的課題の記載が出てくるのですが、KPI しかり、空き家に関するところが22 ページの居住

地における空き家の立替やリノベーションといったところしか出てこないの
で、何かしらもう少し、攻めの空き家対策が書けないかなと思いました。

最後に基本目標 4 のところで、一つワードとしてフレイルが出てきてい
て、事前に防ぐという視点は非常に大切だと思うので、令和 11 年度に向け
て、もっとフレイルに注目して、四日市市として良い感じに仕立て上げられ
ないかなと感じました。

矢澤参事 ありがとうございます。前回からの指摘というところですが、先に申し上げ
ましたとおり、KPI の設定や数値目標とのつながりといった総合戦略の組
み立てを意識させていただいたという点があげられます。昨年度、総合計画
の中間見直しを進める中では、本委員会のご指摘を踏まえた上で、総合計画
の指標についても、総合戦略に流用していくという観点のもとで、上位計画
の方から意識して指標等を作成してきました。

個別のところで、農業、担い手の視点をより入れたほうが良いという意見
をいただきましたので、こちらは担当課と検討したいと思います。紹介のあ
った瀬戸市の事例は、我々としてもぜひ参考にしたいと思います。特に、道
の駅については、北勢バイパスが尾平の 477 号線のところまで通るので、こ
のあたりの土地活用、メインは産業用地の確保ということにはなりますが、
併せて道の駅の整備についても総合計画に位置付けたので、チャレンジして
いきたいと考えています。道の駅といいますと、やはり皆さん立ち寄ってい
ただいて、地元のものを購入いただくということで、販路の拡大にもつなが
ると思いますので、学生さんの視点も含めて考えていければと思います。

ふるさと納税については、そもそもマイナスからのスタートということ
で、どうしても制度上、都市部は出ていってしまうということが避けられな
いと考えているところ、何とか入りを増やす、マイナスの幅を少なくするこ
うことで、これに加えて、まちのプロモーションも進めていく、これは外
部人材も登用して行っていますので、こういったことから、指標として記載
していきたいと考えています。

それから公共交通のところで、KPI として、基幹的公共交通の徒歩圏人口
カバー率というのを入れており、バス停から一定の距離未満であるとか、バ
スが一日に数本ではなく定時的に利用できるといったような基幹的な公共交
通を利用できる人の割合を設定しています。こういったところをベースとし
て、交通空白地について、たとえば、市街化調整区域で、バス停から一定の
距離を超えているところなどは、タクシーの利用を支援するといった施策を
実施しています。

杉浦会長 こういった制度があるのですね。これは免許返納とは別の制度でしょうか。

矢澤参事 免許返納に対応するものとは別の制度で、距離によって対象が決まります。そもそもバスが1日に数本しかない、そのバス停も、徒歩で相当離れているといった方にタクシーチケットを支給するといった施策となります。市街化区域でも河原田地区などは、公共交通機関がないということもあり、デマンド交通の実証実験を実施しています。今は河原田地区で行っていますが、これがうまくいけば、条件が似ている他の地域にも展開できないかと考えています。また、中心市街地では、中央通りで近鉄から JR まで自動運転のバスを走らせるといったように、地域や場所の特性を踏まえて、個別に対応を行っているところです。

空き家対策については、記載内容を担当課と検討したいと思います。また、フレイル対策のところでは、先日中部電力さんとスマートメーターを活用して、通知が来るといった予防対策も進めているので、このあたり、表現については担当課と検討したいと考えています。

杉浦会長 それでは、私もたくさん言い過ぎて、本来であればここからディスカッションをしていきたいと思っていたのですが、時間が押しています。委員の皆さまから、言い残したことや他の委員の意見を聞いて感じたことなどについて、発言いただければと思います。

秋田委員 よろしくお願ひします。12 ページのところで、農業について、今ここには輸出という言葉が出てこないのですが、そういう視点も入れてみても良いのではないかと感じました。今、商工会議所では結構その取り組みをやっており、四日市の牧場で育てられた和牛を輸出するとか、過去にはお米を出す、これはちょっとうまくいきませんでした、お米とかですね。全国的に知名度のある、ブランド力のある農産品ではなくても、こだわりを持って作られているものに対しては、やり方によっては海外の販路が開かれることがあるのではないかと、ビジネス化というところからすれば、そういった視点があっても良いと思いました。政府はご存知のとおり、2030 年までに輸出額 5 兆円を目指して、かなり力を入れており、順調に数字を伸ばしているということもありますし、今日、実は午前中に東海農政局さんと商工会議所のプロジェクトで動いていたものですから、こういったところも参考にいただければと思います。

それからもう一つ、どうしても引っかかるのが、基本目標 3 のところ、19 ページのところですけど、こどもたちが充実した人生を歩むための基盤づ

くり、その下に、いろいろ学びの一体化、個別最適化された学びといったことが書かれています。ここに書いてあることは、そのとおりだと思うのですが、KPI を見てみると、こどもの居場所関連事業のべ参加者数というのも今一つわからないのですが、その下の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に関する肯定的回答の割合、これはいいのかなと。肯定的回答の割合、ある意味これは高くても当たり前で、これが現時点で例えば 40% だったら、それはそれで別の大きな問題があるような気がしていて、人生を歩むための基盤づくりっていう目標を掲げたところに対して、この指標は違うのではないかなと感じました。一度ご議論していただければと思います。

矢澤参事 難しいところですが、居場所は学校以外のところもあり、学校でも不登校が増えている中で、やはり学校に行ってもらいたい、学校でも学校以外でも、こどもたちには居場所があるんだよということで、今回指標としてあげさせていただいたところです。それ以外にも良い指標があるのか、一度議論してみたいと思います。

秋田委員 基盤づくりという点を考えると、どちらかというと、人生を歩んでいくためのいろいろな力を身につけるような教育であったり、経験をさせていくということが書いてあるんですね。それに対しての KPI としては、矢澤さんの説明を聞いて、居場所というのはこれでもいいかなと思いましたが、下のところはちょっと違うかなという感じがしています。

矢澤参事 そういう意味では、元々あった KPI で、文化活動とか音楽家を派遣するといった指標についても、幅広い人間性を養うというところでは、一つあっても良いのかなと思いました。

秋田委員 それはいいと思います。この KPI の下のところはずれている気がします。

杉浦会長 他によろしいでしょうか。

廣瀬委員 もしかしたらずれるのかもしれないのですが、基本目標 4 の健康寿命のところ、包括ケアシステムなどを構築していくといった記載がある中で、そこでやはり核になるのは市立病院だと思いますが、市立病院のことが書かれていないので、これからも市立病院というものをしっかり充実させていく、その病床数や医師の確保、先端の技術を取り入れた医療の実施といった形で、病院の記載があっても良いのではないかと感じました。

矢澤参事 ありがとうございます。市立病院は急性期医療を担うというところ、健康寿命の延伸に向けて、健康習慣やかかりつけ医などとの関係もありますの

で、一度検討したいと思います。

廣瀬委員 結局、急性期を経て病院から地域に出していくというところがあるので、核になっていくのは市立病院だと思います。そこをしっかりと書いていただいてはどうかと思います。

杉浦会長 市立病院ではNICU などがありますよね。それが少子化対策にもつながっていくのかなと思います。

廣瀬委員 おっしゃるとおりで、NICU などがあると、やはり住みやすい、安心して子育てしやすいというところにも繋がってくると思います。

別府委員 同じページ、23 ページの健康寿命の具体的施策のところ、かぶせ茶のことが書いてあるのですが、かぶせ茶が健康に良いから摂取する、というのはわかるんですけど、最後の記載が市民の食や農業への理解を深めますという、目的が健康寿命の延伸とはずれているのではないかと感じました。

矢澤参事 ありがとうございます。確かにどちらかというと、教育的な視点ですね。一度検討したいと思います。

杉浦会長 他によろしいでしょうか。

事務局 事務局より一点、確認させていただければと思います。基本目標 3 の基本的方向性 3 のところについては、議論を聞いていると、KPI の見直し、場合によっては削除といった対応が要るのかなと感じています。この点について、ご意見などあればお聞かせいただければと思います。

別府委員 この点については、空き家というのが最初に来ているわりに、内容を見てみると空き家のことがあまり書いていないといったことが気になりました。たとえば、空き家率などを指標にするというのは難しいのでしょうか。

矢澤参事 市議会でもそのような指摘があったと思いますが、正確な空き家の数を補足していくのが難しいので、見送った経緯があったと記憶しています。

杉浦会長 国の方でも空き家の対策に力を入れていますよね。税などでこういった空き家を正確に把握できるものではないのでしょうか。たとえば、空き家を壊して更地にするといった点であれば空き家率という指標もあると思いますし、有効活用だと、街を一つのホテルと見立てて民家で民泊できる、空き家を有効活用するといったこともあるかと思います。

矢澤参事 このあたりは、一度担当課と整理させていただきます。

杉浦会長 よろしいでしょうか。皆さまの専門的な見地から色々なご指摘や前向きなご意見をいただいたと思います。全体的な項目として KPI の見直し、項目自身の検討、具体的な数値目標の是非を確認したと思います。この中で見直しを含めて検討してほしいといったご意見もありましたし、広域連携の視点、認知症サポーター、来港者数といった誰が見ても理解できるような用語の説明や、統計の見方がぶれないように考えていただければと思います。また、議会を含めて、もう一往復あると聞いていますので、今回の意見を反映いただければと思います。よろしくお願いします。それでは、事務局にお返しします。

矢澤参事 ありがとうございます。皆さまのご意見をいただく中で整理していく項目も見えてきましたので、引き続き検討していく中で、おっしゃるとおり、わかりやすく表現していきたいと思います。また、市議会のご意見を踏まえた中で、7月くらいには、もう一度この会議を開催させていただきたいと思っています。本日は熱心なご議論ありがとうございました。

以 上（終了午後 4 時 32 分）